

[11] 「甘うい」、「シャインマスカット」の生産拡大

～ブランド産地の育成に向けて～

1 課題化の背景

キウイフルーツ県育成品種「甘うい」とブドウ優良品種「シャインマスカット」は、共に平成25年からJAみなみ筑後管内での導入が始まり、栽培面積が増加している。当産地の「甘うい」は大玉で糖度が高く、県下トップの品質であり、加えて、新規生産者も増えている。また、「シャインマスカット」では、生産者間での品質のバラつきが大きくなりつつある。

そこで、両品目とも高品質果実の生産拡大を図った。

2 活動の内容

(1) 「甘うい」果実の生産拡大

定期的な栽培管理講習会に加え、全園地巡回を行い、その結果をもとに個別指導を実施した。さらに、選果実績をもとに、管理のポイントを周知して、高品質果実生産に向けた意識づけを行った。

(2) 高品質「シャインマスカット」の生産拡大

講習会における摘粒・摘房や新梢管理方法の実演や試験場への視察研修（写真1）を通じて、生産者に高品質栽培技術の習得を促進した。また、若木園を重点的に巡回し、品質の安定化を図った。



写真1 試験場への「シャインマスカット」視察研修会

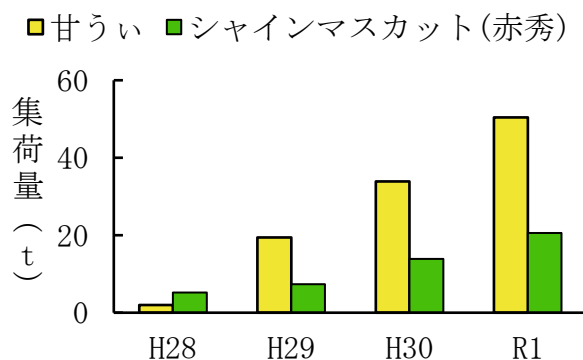


図1 「甘うい」及び「シャインマスカット」(赤秀)の集荷量の推移

3 主な成果

(1) 「甘うい」の集荷量増加

苗木や若木の養成について理解が深まり、樹冠拡大が図られたことで、集荷量は3年間で2t（H28）から50.4t（R1）まで増加した（図1）。

(2) 高品質「シャインマスカット」の出荷拡大

生産者数および生産面積の拡大と生産者の栽培技術向上により、赤秀（高品質シャインマスカット）の集荷量は3年間で5.2t（H28）から20.6t（R1）まで拡大した（図1）。